

令和5年度
教育課程特例校における特別な教育課程
【実施状況報告】

箕面市立第一中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・英語しか使えない時間を設定する。ゲーム感覚で、先生も生徒も英語で考えたり、英語を話したりする機会を増やす。
- ・日常で英語を使う機会を増やす。
例えば、給食の時間に英語のラジオを聴く。英語以外の授業を英語でおこなう。見慣れたアニメの英語バージョンを見て、ディスカッションをする。
- ・日常的に使っていかなければ、英語は身につかない。特に日本人は文法を完全に身につけるまで話そうとしない傾向があるので、授業で話をする機会をつくる。
- ・英語の曲などを使って、勉強しているのが楽しそう。
- ・日本語と英語をもう少しミックスした方が、英語自体の理解が深まる。

3.今後に向けて

- ・学校生活でのALTとの会話の中で、英語を使う場面を増やす。
- ・英語科の学習内容がより深まるよう、英語コミュニケーション科と連携を図る。
- ・自ら考え、表現する活動を通して、自己表現の機会を多くする。また、英語への興味関心をより深めることによって、学習内容の定着につなげていく。